

2022 年 9 月

館蔵品展「鈴木花蓑展」開催概要

開催期間 令和4年9月17日（土）～11月6日（日） 計 44 日間

開催場所 半田市立博物館 特別展示室（2階）

主催 半田市立博物館

展示協力 碧南市教育委員会

観覧料 観覧無料

入場者見込み 10,000 人

展示概要 鈴木花蓑は俳誌「ホトギス」を中心に活躍した俳人です。花蓑は明治 14 年に半田町で生まれ、その後は半田区裁判所に勤務し、半田の俳句グループ「芋会」の中心人物となりました。雑誌欄の募集が始まってからは『ホトギス』に投句をするようになり、大正 3 年に初入選、大正 10 年には巻頭を飾ります。その後も『ホトギス』で活動が続け、大正末期から昭和初期にかけて花蓑時代という全盛期を築き上げます。花蓑は虚子から受け継いだ客観写生を徹底的に追究し、事物を凝視することによって多くの写生句を作り上げました。晩年は碧海郡の棚尾で過ごし、碧南の俳句文化の隆興に貢献しています。

本展では、俳句誌や短冊、直筆の原稿や手紙を展示し、花蓑の生涯や周囲の人々について紹介します。

展示点数 約 30 点（俳誌や短冊）

展示構成

コーナー名		内 容	展示物
特別展示室 （2階）	花蓑の生涯	花蓑がどのような生涯を過ごしたのかを、年表を中心に紹介します。	『破魔弓』 『ホトギス』 『鈴木花蓑句集』
	花蓑と『ホトギス』	『ホトギス』がどんな雑誌なのかを説明し、花蓑と『ホトギス』の関わりについて解説します。	『ホトギス』 大正 10 年 12 月号、 短冊、色紙など
	花蓑と棚尾	花蓑と棚尾の関わり、また、俳句誌『アヲミ』について紹介します。	俳句誌『アヲミ』、自筆原稿、手紙 （碧南市教育委員会蔵）

	花蓑の俳論	花蓑が作句のうえで何を大切にしていたかに焦点をあてます。	『ホトトギス』 昭和 5 年 6 月号、 昭和 7 年 4 月号など
	花蓑と 周囲の人物	花蓑の門下生やなど花蓑と関わりのあった人物を紹介します。	『ホトトギス』 大正 1 5 年 1 月号、 昭和 4 年 3 月号など